

MINAO SHIBATA PRIZE FOR MUSIC CRITICISM

第3回

学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金

2016年は柴田南雄
生誕100年を記念して
特別にテーマを
設けて公募します。

柴田南雄 音楽評論賞

公募のお知らせ

柴田南雄(1916-1996)

作曲家、音楽評論家・音楽学者。東京帝国大学理学部、文学部に入学。同時にチェロ・ピアノ・作曲・指揮法を学ぶ。

教育者として桐朋学園大学の設立に関わり、それ以降、お茶の水大、東京藝大などで教鞭をとり、多くの音楽学者や作曲家を育成。

NHKや朝日新聞などで、啓蒙的でシャープな音楽批評活動と音楽評論活動を展開した。

本賞は、1988年に設立された〈アリオン音楽賞〉の選考委員でもあった氏の業績を顕彰し、1996年にその名を冠し評論賞が独立して設けられた。

音楽評論を社会に広め、音楽文化の質の向上に貢献する

音楽評論家を育成することを目標として、

将来期待される個人に対し、

広く音楽評論作品を募集します。

〈選考委員〉 船山 隆(審査委員長・音楽評論家)
伊藤制子(音楽評論家) 梅津時比古(音楽評論家) 榎崎洋子(音楽評論家)

〈応募資格〉 国籍、年齢を問わない。

〈応募要項〉

- I. 下記(1)、(2)の応募作3編を提出すること。日本語に限る。
 - (1) 演奏会評…個評2編 字数制限…1000字まで。
2015年11月1日以降2016年6月中旬までの国内で開催された演奏会に対して批評する。
 - (2) テーマは「柴田南雄の(と)○○○」。未発表の音楽時評または音楽評論1編。
字数は400字×15枚～25枚(6000字～10,000字)
*○○○については、書き手の自由とする。
- II. 応募作とともに下記の事項を記入した書類を提出する。
氏名・住所・電話番号・性別・生年月日・略歴・応募の動機
- III. 2016年6月20日(月)16:30必着
原則、郵送あるいは、電子メールでの送付。なお、電子メールの場合、件名に「柴田南雄音楽評論賞」と明記し、PDFファイルで送付のこと。本学から受領の確認メールを送信いたしますので、その受信をもって受付完了とする。

〈審査方法〉 書類選考(必要に応じて面接あり)

〈発表〉 2016年9月頃

〈表彰〉 優秀者1名に対し、「柴田南雄音楽評論賞」を授与する。
「柴田南雄音楽評論賞」・賞状と賞金(100万円)。奨励賞の場合は賞状と賞金(50万円)。
*ただし賞金額は柴田南雄生誕100年の今年度限りとする。

【お問い合わせ・送付先】 桐朋学園大学音楽学部 柴田南雄音楽評論賞 係 〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4102 Mail: n-shibata-mca@tohomusic.ac.jp

<http://www.tohomusic.ac.jp/>

学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金

検索